

釧路南ロータリークラブ会報

第16回 例会報告 2022.11.4 通算1903回

・点 鐘 菊地会長

・ロータリーソング

「君が代」「奉仕の理想」「四つのテスト」



ソングリーダー 長倉 巨樹彦会員

・誕生祝

和田 優会員 S21. 11. 6 (76歳)

・結婚祝



福井 克美会員 (51年目)

・会長挨拶



みなさんこんにちは、先日の観楓会例会おつかれさまでした。

皆でゴルフをし、温泉に入り、酒を飲むという楽しい例会となりました。

段取りをしてくれた親睦委員長には感謝しております。

11月の13日に2500地区で昨年からの導入したRLIのパート1があります。

当クラブからも、長江会長エレクト、佐藤真之介幹事エレクトが受講予定となっております。

私菊地は当日セッション1の3時限目と6時限目のDL(ディスカッションリーダー)を、務めることとなりました。

きちんと進行できるか問題ですが、がんばります。又、一緒に勉強をしようと思いますので宜しくお願い致します。

さて今週のプログラムは『ロータリー財団月間に困んで』です。福井委員長が担当していただきますので、財団について勉強させていただきます。

本日もどうぞよろしくお願いたします、以上会長挨拶とさせていただきます。

・幹事報告



- * 11月のロータリーレートは1ドル148円です
- * ガバナーエレクト事務所より2023-24年度国際ロータリー第2500地区ガバナー補佐決定のお知らせが届いております。
- * 釧路ロータリークラブ様、釧路北ロータリークラブ様、釧路西ロータリークラブ様、釧路東ロータリークラブ様、釧路ベイロータリークラブ様、根室ロータリークラブ様、浜中ロータリークラブ様から11月の例会案内が届いています。
- * 根室ロータリークラブ様より会報が届いております。
- * ハイライトよねやまが届いております。
- * 2023年国際ロータリー年次大会（メルボルン大会）のご案内が届いております。
- * 釧路交響楽団 第44回定期演奏会の案内が届いております。招待券が2枚ありますのでご希望の方は先着順になります。私までお声がけください。
- * ロータリーの友11月号が届いております。
- * 先日、木内会員より、当クラブに千両梨の実をご提供いただきましたと連絡を受けまして、鮮度の都合上早急な対応が必要だったため、理事会を介さずではございましたが、10月28日に木内会員と佐野会員にご足労をいただき動物園へ寄贈をしていただきましたのでご報告いたします。

・委員会報告

親睦委員会

- ・本日のニコニコ献金
和田 優会員 誕生祝として
福井 克美会員 結婚祝として

・本日のプログラム

「ロータリー財団月間に因んで」

担当 ロータリー財団・米山委員会

◆ロータリー財団・米山委員会 福井克美委員長



11月は、ロータリー財団月間です。先に米山について簡単に話をしてから財団について話します。

1952年、日本で最初のロータリークラブの創立に貢献した実業家米山梅吉氏の功績を記念して米山奨学会を発足。この事業は日本の全クラブの共同事業に発展し、1967年、文部省の許可を得て財団法人ロータリー米山奨学会となりました。

米山梅吉氏は、幼少で父を亡くし、母の手一つで育てられ、16歳の時に静岡から上京し、働きながら勉学に励み、20歳で米国の大学で8年間苦学の留学生活を送りました。

帰国後、三井銀行に入行し常務取締役となり、その後三井信託銀行（株）を設立して、新分野を開拓し社会へ貢献しました。

晩年は、財団法人三井報恩会の理事長となり、ハンセン病・結核・癌研究の助成など多くの社会事業・医療事業に奉仕しました。また、子供の教育のためには夫人とともに資材を投じて小学校を創立しました。“何事も人々から欲しいと望むことは人々にもその通りにせよ”と米山梅吉氏の願いでもあり、自身の生涯そのものでありました。他人への思いやりと助け合いの精神を身をもって行いつつ、そのことを多くは語らない人でした。今後日本の生きる道は平和しかない。それをアジアや世界に理解してもらうためには、1人でも多くの留学生を迎え入れ、信頼関係を尽くすこと。それこそが日本の最もふさわしい国際奉仕事業ではないかとの思いがありました。今日の世界情勢と日本の置かれている状況を考えるとき、その使命は増々重要性を増しています。留学生への支援は、未来に向かって平和の架け橋をかける尊い奉仕です。クラブでは毎年、皆さんの会費の中から人頭分担金として貢献しています。個人でも受け付けていますのでよろしくお願いいたします。

続いて財団の話をしていきます。ロータリー財団の使命は、ロータリー会員が、人々の健康を改善し、質の高い教育を提案し、環境保護に取り組み、貧困をなくすことを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。

非営利組織である当財団は、ロータリー会員をはじめ、より良い世界を築こうというビジョンを共有する財団支援者の方々からの自発的な寄付のみによって支えられています。

ご寄付はロータリー財団の補助金となり、助けを必要とする地域社会に持続可能な変化をもたらす活動に役立てられています。

財団の歴史は、1917年、ロータリー財団の父と呼ばれる、アーチ・クランプ、6人目のRI会長が「世界で良いことをするために」基金の設置を提案し、この基金が翌年ロータリー財団と名付けられて国際ロータリーの新しい組織となり、現在のロータリー

財団に至っています。

1947年にポール・ハリスが亡くなった時に、ロータリー創始者の死を悼んで寄付が国際ロータリーに相次いで寄せられました。財団は、ポール・ハリス記念基金を設けて、ポールに敬意を表したいロータリアンに対して、財団寄付をお願いした。翌年までに130万米ドル以上が寄付された。次に財団事業の説明をします。

・ポリオプラス

ロータリーはポリオ根絶を組織の最優先項目とし、1985年にポリオプラス・プログラムを立ち上げました。世界ポリオ根絶推進運動のパートナー団体との協力を開始した1988年には、125カ国で35万件以上の発症が確認されていましたが、以来、30億人の子供にポリオの予防接種を行い、発症数は99.9%減少しています。

2020年現在で、ロータリーはポリオ根絶活動に20億ドル以上の資金（ビル&メリンダ・ゲイツ財団からの上乗せを含む）を投入しています。

ポリオ補助金はポリオ常在国およびウイルス流入のリスクがある国を中心に、ポリオ根絶活動に充てられています。ポリオ補助金は、ポリオプラス基金および地区財団補助金（DDF）の寄贈によって調達されます。

・ロータリー平和フェロシップ

世界各地にあるロータリー平和センターでは、国際関係、平和研究、紛争解決といった関連分野の修士号、あるいは平和と紛争解決分野の専門能力開発修了証の取得を目指す学生に、ロータリー平和フェロシップ（奨学金）を提供しています。

フェロシップは、授業料、入学金、食費と部屋代、往復交通費、インターンシップと実地研修の費用に充てられます。その資金は、地区からのDDF寄贈、ほかの寄付者からの冠名指定寄付、恒久基金、国際財団活動資金（WF）によって支えられています。

・大規模プログラム補助金

この補助金は、「7つの重点分野」において成果を挙げているロータリー奉仕プロジェクトの範囲、インパクト、持続可能性に基づいて授与されます。この補助金により、ロータリー会員は経験豊富なパートナー団体と協力し、大勢の人に恩恵をもたらす大規模で効果の高いプログラムを実施することができます。

7つの重点分野とは、

- ① 平和構築と紛争予防
- ② 疾病予防と治療
- ③ 水と衛生
- ④ 母子の健康
- ⑤ 基本的教育と識字率向上
- ⑥ 地域社会の経済発展
- ⑦ 環境

・地区補助金

地区補助金は、一括で地区に支払われ、地元や海外のニーズに取り組むために使用できる補助金です。地区は毎年、ロータリー財団の使命を支える地区やクラブの活動（職業研修チーム、奨学金、人道的奉仕プロジェクト、青少年プログラムを含む）を支えるために、使用可能な地区活動資金（DDF）の50%までを地区補助金として申請できます。

・グローバル補助金

グローバル補助金は、戦略的な観点から大きな影響をもたらす、地区やクラブの活動に使用できる補助金です。大規模で国際的な人道的プロジェクト、職業研修チーム、奨学金のために活用でき、7つの重点分野のいずれかにおいて、持続可能かつ測定可能な成果をもたらすことが求められます。プロジェクトは3万米ドル以上を対象にしています。

補助金提唱者は、地区財団活動資金（DDF）、現金、冠名指定寄付と恒久基金の収益を組み合わせることでグローバル補助金に充てることができます。

財団は、すべてのDDF寄贈に対し、その80%相当分の国際財団活動資金（WF）を上乗せします。WFの上限額は40万ドルです。現金拠出にはWFからの上乗せはありませんが、現金でグローバル補助金の資金を調達できます。グローバル補助金の提唱者が現金拠出金を財団に送る場合、手続きにかかる費用として5%を追加して送金する必要があります。

グローバル補助金はすべて、二つのクラブまたは地区が提唱しなければなりません。

・災害救援補助金

災害救援補助金は、過去6カ月に自然災害により被災した地域における救援および復興活動を支援します。被災地にある地区は、2万5千ドルを上限として補助金を申請できます。

補助金の資金は、水や食料、医薬品、衣服といった基本的な物資を提供するために使用できます。



イマジン
ロータリー



・次回のプログラム

11月11日（金）

「職場例会」移動例会

会場 おって御案内します 12:00～

担当：クラブ会報委員会

・点 鐘 菊地会長

今週の会報担当：佐野実会員